

息をそろえてみんなでジャンプ

町スポーツ少年団交歓交流大会での長なわとび
(5月14日：朝日町民体育館)

特 集／各地に広がる元気クラブ

町政スポット／春の叙勲・褒章伝達式、ブックスタート事業 ほか

カメラさんぽ／第42回朝日町消防団消防操法審査会

まちの話題／今井倭子さんオペラリサイタル、ダイキン工業(株)来町
モンゴルから短期留学生 第10回町民ゴルフ大会 ほか



広報

あさひまち

朝日町は朝ごはんを食べよう運動を推進します。

2007年6月号
No.607



創遊館の芝生広場でグラウンドゴルフを楽しむ 運動や仲間との会話が介護予防へつながります

特集○各地に広がる元気クラブ 地域みんなで介護予防

高齢化社会という言葉が定着している現在、「介護」という言葉は、より身近なものになってきているのではないでしょうか。

当町においては、寝たきり高齢者や認知症高齢者の人數は、ここ数年間ほぼ横ばいで推移しています。しかし、75歳以上の後期高齢者や、一人暮らしの高齢者については増加の一途をたどっているため、介護を必要とする方が今後さらに増える可能性があります。

(左頁表1)

このような状況から、近年は介護予防への取組みが全国

的に重要視されてきました。当町でも昨年度から行なっている「ピン・シャン教室」、そして本年度からはじまつた「毎日骨々サロン」などいろいろな取組みを行なっています。さらに、町が主体となつて行なっている事業のほか、地域が主体となつて活動する事業があります。それが「元気クラブ」です。この取組みの特徴は、あくまで「住み慣れた地域で、顔見知りのみんなで」介護予防に取り組むこと。現在、この取組みはいろいろな形で各地区に広がっています。

高齢者を取り巻く環境 近年の情勢と取組み

近年、全国的に見ても、疾病や認知症のために介護が必要な方が確実に増加しています。平成18年度の介護保険制度の見直しの中でも、介護予防が大きなテーマとなり、各自治体においては、すでに様々な取組みを行っています。

そんな中、当町で行われている取組みの一つに「元気クラブ」があります。これは、高齢者が「住みなれた地域の中で」介護予防活動を行なうことに特徴があり、町ではその活動を支援しています。

今回はその取組みについてスポットをあて、元気クラブの内容を紹介します。

地域みんなで介護予防 キーワードは「住み慣れた地域で」

介護予防事業あれこれ ～今年度の取組み～

◆ぴん・しゃん教室

高齢者の皆さんのが「ぴん」と、そして「しゃん」と、元気で長生きしてほしい…そのような願いから、昨年度より「ぴん・しゃん教室」（介護予防事業）を実施しています。今年度は会場をふれあい荘に移し、転倒予防を中心に、運動やレクリエーションを学びます。

今年度第1回目となった5月24日には、自身の体力を測定。全教室終了時に筋力や柔軟性がどの程度向上したかを評価し、より安全に生活が出来るよう支援を行う予定です。



◆毎日骨々サロン

町内の3接骨師さんから協力を頂いて、今年度から新たにスタートしたのが「毎日骨々サロン」



です。ぴん・しゃん教室と同じように、転倒予防の体操などを行う教室で、町の開発センターを会場に行い、第1回目の体力測定を6月5日に行いました。接骨師の先生方が、身体能力の向上を目標に、一人ひとりの身体状況に合わせた内容で行っています。

このように生活状態が続くことで、認知症や筋力の衰えなど、日常生活に支障をきたす要因ともなりかねません。さらには要介護状態へと結びつき、自立した生活が困難になる恐れが出てきます。

これまで、各地域では長

必要としないまでも、一人暮らしや、日中一人になるために自宅に閉じこもりがちになっている方や、けがや病気などをきっかけに、外出する機会が減り、人との交流が少なくなっている方がいます。

寿クラブを組織して、さまざま活動に取り組んできました。しかし健康上の理由などから、長寿クラブ活動への参加が困難な方もいるのが現状です。そこで、現在町で実施している「元気クラブ」事業は、こうした方に外出の機会を持つ

ていたとき、周囲の方々と交流を図ることを目的としています。これをもとにして、生きがいを見つけたり、生活機能の回復と同機能の低下を防ぐなど、介護予防に取り組んでいます。

（表1）朝日町における高齢者の概要

年度	高齢者数 (65歳以上)	後期高齢者数 (75歳以上)	一人暮らし 高齢者	寝たきり 高齢者	認知症 高齢者
H12	2,878	1,382	120	63	33
H13	2,920	1,432	129	72	37
H14	2,933	1,488	139	81	40
H15	2,948	1,529	153	69	36
H16	2,933	1,579	170	75	39
H17	2,908	1,593	187	69	23
H18	2,905	1,665	200	71	27

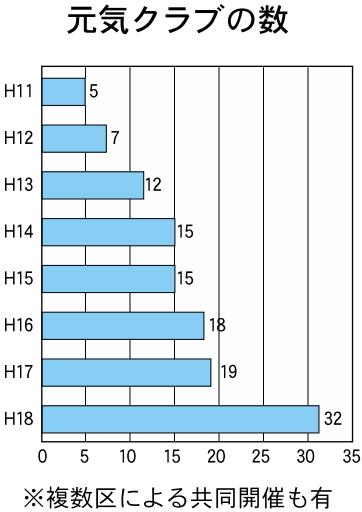
山形県「県内ねたきり高齢者、ひとり暮らし高齢者等の状況について」より

要介護状態にならないために

身近な公民館で顔なじみの方々と活動

この「元気クラブ」事業は、平成11年度からの「いきいきデイサービス」という事業から始まりました。

それは、地域のボランティアが中心となつた、お年寄りのお茶飲み会のようなものでした。場所を地区の公民館に定め、運営方法や参加者を制限せず、地域の高齢者の方々を広くお誘いして、気軽に誰でも参加できる事業を実施していました。



町が主体となつて実施し、参加者も全町的に募つてきましたが、人數の確保に苦慮していました。これが実情でした。

それ以前は、同様の内容を加した方が、その後は多くの人が積極的に参加しています。平成18年度からは、事業の名称を「元気クラブ」に改め、

そこで、気軽に参加できるよう、前述の運営方法に改めたところ、参加者が大幅に増加。身近な公民館を会場に実施することで、より足が運びやすくなり、また、顔なじみの地域の皆さんが事業主体となることで、隣近所へお茶飲みに行くような気軽さが持てるようになったことが理由のようです。

また、はじめは参加する方に抵抗があり、しぶしぶ参加した方でも、その気軽さに好感を持ち、以後は多くの人が積極的に参加しています。ずねると、「同じ地域内に住んでいても、なかなかみんなに会う機会が無く、元気クラブに出ることで、会って話ができるのがうれしいし楽しい」「毎回参加しています。一人で食事をするよりみんなで食事をするのは楽しいし、おいしいものです」と口をそろえて語ります。

また、代表の長岡さんは「まずはみんなで集まって話をすることが大切だと思います。他の地区ではあまりないようですが、夫婦で参加している方も5組程度います。皆さん集まって話をして会食することを、とにかく楽しみにしているんです」と語ります。

「参加するみんなが楽しめる内容を」という運営方針のもと、ボランティアと参加者の双方がアイデアを出し合って事業内容を考えているとのこと。一人暮らしや高齢者世帯が多い大船木区。そのため、多くの人が集まる、元気クラブの存在が区民の皆さん的心のよりどころになっているようでした。



大船木元気クラブ (ボランティア) 代表 長岡文子さん

「もともとは、10年ほど前に、近所の友人と、みんなを誘ってカレーでも作って楽しい昼食会でもしようと提案したのが始まりです」と語るのはボランティア代表の長岡文子さん。その内容が好評を得、その後いろいろな事業を年2～3回程度開催するようになりました。

やがて、平成12年度からは「いきいきデイサービス」事業に申請を行い、町から助成を受け、活動も充実。現在は元気クラブとして、昼食会



取材の日は輪投げを楽しみました

を中心とした毎月1回の活動に、運営ボランティアと参加者を合わせて約20人が参加しています。

皆さんに感想をた



輪投げの参加賞として、木の葉に包んだものは?

地域みんなで介護予防 キーワードは「住み慣れた地域で」

事業は、協力者や参加者の皆さんが、自由な発想で実施しています。各地区や長寿クラブとのタイアップ事業もあれば、単独の事業もあります。事業の内容としては、一つの事業を毎年継続し、町外の催します。

元気クラブの運営は、地域の特性や実情に合わせて異なります。ボランティアの方が中心だつたり、区や長寿クラブが主体であつたりと幅広い年代の方々からのご協力で成り立っています。

また、各地域の中では長寿クラブの活動も実施されていますが、この元気クラブ事業の目的は、先に述べたように、「介護予防」。そのため、長寿クラブの会員の方も、そうでない方も幅広く参加しています。

元気クラブの活動の一部を紹介 (平成18年度)

- ・医師や町保健師の健康教室
- ・子ども会との花壇の植栽
- ・スノーランタンつくり
- ・かかし作りと展示
- ・保育園との交流
- ・頭の体操ドリル
- ・大人のぬり絵
- ・童謡カルタ
- ・しめ縄づくり
- ・昔話を聞く会
- ・料理教室



「元気の素」を貯金していきましょう



◆地域包括支援センター

主査兼係長 村山 敏子

高齢になっても地区の人と交流を持ち、元気に家で過ごしてもらいたいとの願いから「元気クラブ」と名前を付けました。足腰が悪くなるとどこにも出かけられないとあきらめていますか?ボランティアの人に支えてもらい元気クラブに参加してみましょう。

毎月の内容は各地区で考えてみんなが参加しやすいものになっています。原則的には地区公民館を利用した事業ですので、気軽に集まつていただきたいと思います。昔話に話が弾んだり、ゲームをしたり、子どもたちと触れ合うことにより「元気の素」を貯金していきましょう。

元気クラブは、実施される「地域」を一番に考え、協力してくださる方々も、参加される方々も一緒になつた、地域の取り組みとして実施されます。

世代の違う方々と一緒に行う事業のなかでは、高齢の方々が持つている知識を生かして、先生となつてもらうことで、年を重ねてもまだまだ

現役という気持ちでがんばっている姿がうかがえます。これまで、地域の中で大きな役割を担ってきた高齢者の方が、これからも元気で生きがいをもつた生活を送るために、毎日の生活の場である地域の中で、高齢者の方と、地域のみなさんが一緒にになって介護予防に取り組むことが必要です。

運営方法は地区によって様々

毎日の生活の場である地域の中

春の叙勲・褒章伝達式 渡邊金二氏に瑞宝双光章、遠藤作兵衛氏に瑞宝單光章（5月7日／文翔館）



伝達者の齋藤知事（中央）と受章者との記念撮影（最前列右端が渡邊氏、2列目の右から5番目が遠藤氏）

国や地方自治体等、社会のさまざまな分野で功績のあった方々を国が表彰する「春の叙勲」の山形県伝達式が5月7日文翔館で行なわれ、朝日町から2人の受章者が参列しました。

瑞宝双光章を受章された渡邊金二氏（本町）は、町消防団長を11年の長きにわたって務められたなど、計42年間の消防団活動に対する多大な尽力がたたえられました。

渡邊氏は「過去には1日3件の火災を経験したこともありました。良き先輩や後輩、当時の団員、そして家族の理解と協力があってこそこの受章です。皆さんに感謝します」と感謝の気持を語りました。



災害備蓄用ペットボトル贈呈（5月17日／役場）



近年多発する地震等の大規模災害に備え、仙台コカコーラボトリング株式会社山形営業所より、水2リットル入りペットボトル（森の水だより）計300本が町へ贈呈されました。

町では、今回の贈呈を機に、毛布などほかの備蓄品の更なる充実を図る予定です。



町では若年層の定住促進（大町）は、勤労者の居住の場の確保を目的に、旧雇用促進事業団（現雇用・能力開発機構）が平成7年に新築した、鉄筋コンクリート造5階建、40世帯分の集合住宅です。

町では若干の定住促進を図るため、入居条件の緩和や家賃の低価格化を掲げ、昨年度から取得の準備を進めてきました。今回、およそ3680万円で取得し、6月1日から町で管理しています。

家賃を2万5000円（5階は2万2000円）に設定し、収入の少ない若年層も安心して居住できる居住環境を提供いたします。

問 建設水道課管理係
（☎ 67-2115）

臨時議会第2回
町議会（5月22日）

- ①財産の取得について
- ②朝日町定住促進住宅条例の設定について

【原案可決】

があミ時、尊自し才「
動いツ代社重分た能俺
力てドに会すな時でが
のはをよにるりには大
中、建つ求心力造てめ
心力造てめ織方どいに
にのし異ら田法うす
なあたなれ信をすいる
つる古りるの長編れの
た強代ま人言みばいは、
産いエす間葉出いろ
業人ジはすいな生
革間ブ人す人か場ま
命がト力そ間と面れ
以、時のを考につ
降機代ビ時一え遭き
の械にラ代番、遇の

今求められる人間とは

ン換力て力一ピタ計
能し、新しい「創ユ一算そめ代
力、こしまだ造に力しらるにあ
。共れいすと性タはあれて事務い
にがここれ創創と脳科とがいは報い能て
らは上性生茂木コシせん人会の長ホフ
人間だけ出木ユな健二ケイし到底、
が二発郎一力かじ記
も行意想氏シし、記憶
つ見するはヨそ
てシをる言なれコユカ
いヨ交能つ能がン！・

に時をかつミとコの誰でる
や代にこいユでン場かも新能
るは正育みてニスピでとがし力
こ過確むユイケ。ユ即話やいで
とぎにか二ま！こ！興すっこあり
だ去早。ケシ。シのタ的とてと
けりく答！ヨよ！にいいをます。
で、解えシシうに話うる創
は決くがヨンうに話うる創
太まこ決シソニうに話うる創
刀つとま力打たがつと
ちこほて創
でとめい造
きをらいた性
な正れ問を
い確た題い

因のとめ可にシ大問
で解一ば能もさヨき題
ある決挑可に取らんなを、
「戦能思りに能鍵
と物」にえ組そ力がい
言事のなるおこ「か
の気の言えます。達持そもう
成ちう前ブす。
にはそつ前ラ
欠れたラキス
から「スな發
せがや思想
な考勢で
い問氣で何
要題」臨不事

朝日町長 鈴木浩年

第5次総合発展計画企画委員会 (5月24日／創遊館)

平成20年度から29年度まで、今後10年間のまちづくりの柱となる「第5次朝日町総合発展計画」策定のための企画委員会が5月24日、創遊館にて開催されました。

町ではこれまで、平成12年度から、「自然と人間が共生し、しっかりした暮らしを築くエコミュージアムのまち」を基本理念とした「第4次朝日町総合発展計画」をもとに行政施策の展開を図ってきました。

しかし、近年の社会経済情勢の急速な変化により、新たな計画が必要になってきたことから、これまでの取り組みの評価を図り、本年度中に第5次となる朝日町総合発展計画を策定する予定です。

現在、企画委員会（座長：高野公男東北芸術工科大学教授ほか10人の委員）を立ち上げ、計画策定に着手しています。また、市民各層からなる策定委員会と町職員による幹事会を組織し、3部会（「人づくり部会」「くらしをつくる部会」「よいまちをつくる部会」）に分かれて策定案の検討を進めています。

今後、計画の中間公表なども予定しています。市民の皆さんのお意見を十分反映した、実効性のある計画を作る予定です。



ブックスタート事業 本の贈呈 (6月6日 開発センター)

絵本によって赤ちゃんと保護者がゆっくりと向き合い、親子が心のふれあいを持つきっかけ作りをする、ブックスタート事業の本の贈呈が6月6日、開発センターで行なわれました。

生後6ヶ月程度の乳児を対象にした「もぐもぐ相談」にあわせ、8組の親子が参加。町立図書館員による読み聞かせのお手本のあと、親子ともに笑顔で絵本を受け取りました。



妊婦にマタニティマークを配布



6月から、母子手帳交付の際、妊婦さんに「マタニティマーク」ステッカーを配布します。これをバッグなどに付けて、さりげなく妊婦であることを示すことで、妊婦への配慮を呼びかけるもの。現在全国的に活用されているこのマーク。みんなのちょっとした心配りで、妊婦さんにやさしい環境づくりを推進しましょう。



県との人事交流により
4月1日よりお世話をなつ
てあります。年齢は37歳、
2児の父です。出身は横
浜市、縁あって山形県庁
に奉職し、現在は山形市
に住んでいます。

役場2階の政策推進課
で地域振興対策や協働の
まちづくり等を担当して
います。よろしくお願ひ
します。

千野武雄です
よろしくお願ひします



第2線延長！ ホースを伸ばすため全力疾走



第42回 朝日町消防団操法審査会



町長に頭（かしら）中（なか）



部の統制力を競う小隊訓練



制限時間内で標的を倒す

消防における操法技術と統制力を競う、3年に一回の町消防団操法審査会が5月27日創遊館駐車場を会場に開催されました。町消防団計13部から計120人が出場し、日頃の訓練の成果を披露しました。審査結果は次のとおりです。

▼操法の部 優勝

第1分団第1部自動車
（宮宿・助ノ巻・西原・雪谷）
第1分団第3部小型
（和合）

以下各付表彰

金賞（紫）
（赤）銀賞
（緑）銅賞
（和合）

▼小隊訓練の部 優勝

第1分団第1部自動車
（前田・新宿・2部・3部・4ノ沢・部・自・動・車）
第1分団第2部自動車
（杉山・松原・宇津野・大滝）
第2分団第2部自動車
（松原・宇津野・大滝）
第5部今平

準優勝

第1分団第1部自動車
（松原・宇津野・大滝）
第2分団第2部自動車
（松原・宇津野・大滝）
第5部今平



操法の部で優勝した第1分団第1部の自動車班



各員の正確な動きが要求される



安全・迅速・確実に 訓練の成果を披露





まちの話題



今井倭子オペラリサイタル ~10年間「ありがとう」感謝を込めて~ (6月10日／山形市民会館)



10年目の節目となる公演

プリマドンナとしてイタリアを中心にヨーロッパ各地で活躍してきた今井倭子さん（前田沢）のオペラリサイタルが6月10日、山形市民会館にて開催されました。

10年という一つの節目を迎えた今井さん。イタリア古典歌曲、R. シュトラウスの歌曲、プッチニのオペラ「ジャンニ・スキッキ」から、「私の



お父さん」など、名曲の数々を熱唱。風格のある情感たっぷりの歌声に超満員の観客から、盛大な拍手が送られ10年間の集大成にふさわしいフィナーレとなりました。

また、今井さんが指導している朝日町の「コロ・アウローラ」と山形市の「コロ・リリコ」も共演。リサイタルを盛り上げました。

今後の活動については、「古き良きものを大切にする考えが浸透しているヨーロッパで暮らしてみて、必ずしも都会に住む必要はないと思いました。今後は、故郷を大切にしようという思いから、創遊館を拠点とした、オペラの公開講座（オペラ・ワークショップ）を開くつもりです。これまでの経験を通して若い世代を育てる役目を果たしたいと思います」と抱負を語ってくれました。

大谷小で田植え教室
(5月24日／栗木沢地内)

田んぼの感触は？・・・



5月24日、さわやかな五月晴れのもと、大谷小5年生による田植え教室が行なわれました。

遠藤正幸さん（栗木沢）が所有する水田の一角をお借りして19人が参加。ぬかるんだ田んぼに素足を入れると、その独特的の感触に「あったかーい」、「ネトネットしていて気持ちわるい」など皆それぞれ喚声をあげていました。

ダイキン工業(株)が空気神社参拝
(6月2日／空気神社)

「空気」が縁での交流



ダイキン工業㈱（本社大阪市）の社員11人が、6月2日の空気まつりに合わせ空気神社を訪れました。

同社は、世界的な空調機のメーカーで空気が縁で当町との交流に発展。今回は、全国から選りすぐりのトップセールスマンが参加。空気に感謝し目標達成を空気神社に報告するとともに、10月に新発売する空気清浄機の大拡販を祈願しました。

モンゴルから短期留学生 (6月1日／朝日中学校)

1ヶ月間朝日中学校に通学



(前列) 中央がデーギーさん

6月1日から1ヶ月間の予定で、モンゴルからの短期留学生 ツェツエグレン・ダワーデムベレル(愛称はデーギー)さんが朝日中学校に通学しています。これは立木在住の姉崎一馬さんが主催する、わらだやしき自然教室への参加者とのある縁で実現したもの。

日本語も流暢に話すデーギーさん。松田昌弘さん(大町)宅にホームステイしながら、中学生と同様の学校生活を送り、中学生や町民の皆さんと積極的に交流を図っています。

第10回朝日町長杯町民ゴルフ大会 (5月27日／大石田ゴルフクラブ)

響きわたる「ナイスショット」の声

5月27日大石田ゴルフクラブを会場に、今年で10回目となる町民ゴルフ大会が開催され、43人のアマチュアゴルファーが集いました。



ゴルフは自然が相手のスポーツ。時折降る雨と強風に悩まされつつも、各ホールに「ナイスショット！」の声が響いていました。

また、競技終了後の表彰式と懇親会の席では、珍プレー・好プレーを肴に大いに盛り上がっていました。

(結果は12ページに記載)

西部陶芸教室

(5月23・24日／西部公民館)

オリジナルの陶器づくりに挑戦

西部公民館主催の陶芸教室が、5月23日・24日の両日に開催されました。同公民館には陶芸窯などが完備され、恒例事業として定着しています。

講師の長岡雅彦さん(太郎三)の指導のもと町内から9人が受講。粘土を小皿や花器など思い思いの形に成形。毎回参加している英語指導助手のトリニティ先生も、アイデアを生かした作品づくりに取り組んでいました。



教室での作品は今後、素焼き本焼きを行い、次回の教室が開かれる7月の窯出しが楽しみです。

2007スクールコンサート (5月31日／宮宿小学校)

統合に向けた交流イベント



来年4月に統合を予定している、和合小学校と宮宿小学校の児童の交流を目的とした「2007スクールコンサート」が5月31日、宮宿小学校で開催されました。

今回は県内で活躍する音楽家3人を招いてのコンサート。バイオリンやフルートなど、日頃あまり触れることのない楽器の音色に今井祐太君(宮宿小3年)は「きれいな音色に心がうつとりしました。保育園の友だちと久しぶりに会えてうれしかったです」と感想を語っていました。来年の統合に向け、今後も数回交流会が開催される予定です。

春のうたごえコンサート IN あさひ (5月13日／創遊館)

童謡のすばらしさに感動



寒河江市の「童謡をうたうさくらの会」主催の「春のうたごえコンサート IN あさひ」が5月13日、創遊館で開催されました。

第一部では、指揮の小林たにさん(寒河江市在住、元町出身)の思い出を綴る形で、「春の小川」「こいのぼり」「もみじ」など「ふるさとの四季」が、第二部では「愛唱歌」が披露され、出演者と客席が一体となったコンサートになりました。

観客のひとりは「目頭が熱くなりました。また聞きたないです。童謡っていいですね。」と語っていました。



みんなのひろば

今もつとも輝いているみなさんを紹介します。文芸サークル「たむしば」のみなさんです。みなさんはこの度、文芸誌「たむしば」を創刊されました。

タイトルの「たむしば」とは、朝日岳に自生する「こぶし」の一種で、花はこぶしより小さく、「山に雪が降ったように白く咲く」のだそうです。高い山でもたくましく、残雪の中春一番に咲きます。自分たちもたくましく育つように…、これからますます成長するようにな」との思いを込めて名付けられました。

創刊号には、平成17年12月に開催された「文芸シンポジウム」をきっかけに集まつた10人の作品が掲載されています。「自分史」がテーマですが、内容は人それぞれ。何気ない日常から見えてきたこと、かつて出会つた

この本は図書館にありますので、ぜひご覧ください。皆さんも、ついペンを持ちたくなる衝動にかられるかもしれません。

たむしば

今輝く
「書くことが好きになりました」と語ります。や雪の冷たさまでもが伝わってきます。

2ヶ月に1回の会合に、それが作品を持ち寄り、互いに鑑賞しあうすることでお互いが刺激を受け、作品がいきいきとしてきます。ある会員は「はじめは書き方もわからませんでした。でも少しでも褒めてもらえると、もつと書きたい、読んでもらいたい、というふうに気持ちが変わり、書くことが好きになりました」と語ります。

人への思い、忘れられない日を振り返つて今感じること…。

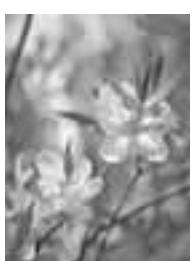
各種大会の成績

(○内数字は順位)

■ 第10回朝日町長杯町民ゴルフ大会（5月27日／大石田ゴルフクラブ／参加者42人）
①鈴木良浩（大谷三）②長岡勉（前田沢）③長岡啓治（常盤）

■第13回西村山陸上競技選手権大会兼第23回山形県小学生陸上競技大会西村山予選会（6月3日／寒河江高校運動場）※3位以上掲載

【小学男子】△5年100m②田川翔平（西）△走幅跳③古川恭平（西）走高跳③大場陸（宮）【中学男子】1年100m②山村伸樹△800m②長岡佑治【中学女子】△800m①近藤香澄【大会新】△15000m①近藤香澄【大会新】△走高跳②若月未来【高校一般女子】△800m③川口愛梨沙（寒河江高校1年）



となりの ひゅうさん

作・ホリイ (193)



大町
鈴木 勇二さん
舞さん



実は二人は中学の同級生。しかし、当時はクラスも別々で、お互いに意識しあうこともなかったといいます。

交際のきっかけは、昨夏の勇二さんの町民プールでのアルバイト。毎日舞さんの自宅の脇を通ってプールへと通っているうちに、友人数名とよく舞さんの家に遊びに行くようになったとか。それからいつの間にか交際に発展し、約半年間の交際を経てこのたび入籍されました。

互いに今春高校を卒業したての新社会人ながら、秋には赤ちゃんも誕生する予定。そのことについて、勇二さんは「仕事は昼夜交代制で、まだ慣れず、なかなか疲れも取れません。正直言って、まだ若いし、経済面で心配もありますが、親となる以上、がんばって働きます」と親としての決意を語ります。舞さんも「仕事は続ける予定ですが、とにかく今は赤ちゃんが大事。無事に生まれてくれるよう祈るだけですね」とお腹の新しい命を、心から気遣っている様子。

「最後に一言…」と尋ねると、勇二さんの視線は舞さんへ。照れる舞さんに対し「幸せにします」ときっぱり。外見は現代風の好青年ながら若さ以上に頼もしさを感じた勇二さんでした。

町小体連陸上記録会(5月17日/西小グラウンド)

【5年男子】



- ▼100m①田川翔平(西)②鈴木大地(西)③茨木達也(宮) ▼70mH①安孫子巧(宮)②阿部基樹(西)③佐竹勇太(西)
- ▼1000m①田川翔平(西)②菅井智樹(和)③長岡拓哉(宮) ▼走幅跳①茨木達也(宮)②鈴木大地(西)③渡辺健(西)
- ▼走高跳①伊藤太樹(宮)②齋藤悠飛(西)②鈴木健太(宮)②長岡朗(西)②志藤慶太(大)

【5年女子】

- ▼100m①五十嵐優衣(大)②小林桃(西)②安藤絵里香(宮)
- ▼70mH①佐藤花菜(宮)②白川恋(西)③鈴木翔子(大)



- ▼800m①白田恵理華(大)②阿部真琴(西)③今野希(宮) ▼走幅跳①安藤絵里香(宮)②安藤美季(宮)③阿部愛衣(大) ▼走高跳①柴田杏奈(宮)②長岡帆乃佳(宮)③五十嵐優衣(大)

【6年男子】

- ▼100m①阿部航瑠(西)②東海林賢一(大)③鈴木奏(宮)
- ▼70mH①鈴木奏(宮)②村山幸路(西)③鈴木海斗(宮)
- ▼1000m①東海林賢一(大)②五十嵐大義(大)③浅井翔太(宮) ▼走幅跳①阿部航瑠(西)②鈴木駿太朗(西)③古川恭兵(西) ▼走高跳①長岡昭平(西)②佐竹真人(大)③五十公野由祐典(宮)



【6年女子】

- ▼100m海野美里(西)②白田由佳(宮)③白田愛美(大)
- ▼70mH①海野美里(西)②小野茜(大)③阿部果歩(西)
- ▼800m①志藤向日葵(大)②安藤美穂(宮)③阿部愛美(西)
- ▼走幅跳①佐竹華織(大)②鈴木友香(西)③佐竹史帆(西) ▼走高跳①松田千知(西)②白田真耶(大)③志藤汐莉(大)

雨の中お疲れ様でした



町民の 吉

みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。

町に対する意見や要望、提案みなさんの周りでの出来事や話題日頃感じていること、イラスト、質問などお待ちしています。

■あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係
(電話：67-2112 フックス：67-2117)

- E メール／inform@town.asahi.yamagata.jp
- U R L／<http://www.town.asahi.yamagata.jp>
- 携帯サイト／<http://www.town.asahi.yamagata.jp>



自然観周辺の携帯不感
地域を早く解消して

ごみ収集の日程 月曜祝日分の代替日は?

問 朝日自然観近辺は某携帯会社の電波が通じません。

朝日町の観光スポットである所が通じないようでは、ますます人が来なくなるのではないか。いりょうか。

早く通じるよう、
現をお願いします。

【
菌名】

答 朝日自然観周辺では、現在のところ主要携帯電話事業者3社のうち（機種限定の場合も含め）2社が使えま
す。

また、もう1社については
今年度中に中継局の整備が計
画されていますので、もうし
ばらくお待ちください。

なお、町では、今回の地域情報化事業で整備した光ファイバを貸し出しこと/or、中継局設置費の軽減が図られることをアピールしながら、町内の携帯電話不感地域ゼロを目指し各通信事業者を協議をすすめているところです。

【政策推進課】

今後クリーンセンターや収集業者と調整しながら、改善方法を検討していきたいと田

申し上げます。

【税務町民課】

大切な志藤六郎基金 補助金交付後のチェックは?

問 厳正なる審査の上で交付を決定している、この太い基準によると、交付決定後の確認は何も行なわれないため、補助金交付後すぐには交付条件を満たさなくなってしまった団体もあると聞きます。

支給したら終わりではなく、その後のチエツク体制は必要ないものでしようか？

【著名】

答 志藤六郎むらおこし基金
は栗木沢出身の故志藤六郎氏よりご寄付をいただき平成4年度に設立した基金であり、これまで58事業に対しております。
補助金決定までの手続きを

補助金決定までの手続きを
説明しますと、町民や各種団

差出人不明のはがきが多くなっています。その場合回答できないこともありますのでご了承ください。

これからも、皆さんのアーディアで地域の元気づくりができるこの基金へ応募ください。ようお願いします。

【政策推進課】



平成19年(2007年)
■5月1日～5月31日届出



すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
西船渡	阿部 太陽	男	俊幸・梨花
西町	菊地 舞	女	章・早百合
西町	星 まりも	女	直樹・法子
宇津野	細谷 叶汰	男	広行・智美
真中	布施 遥菜	女	貴之・憲子
四ノ沢	阿部 ひかり	女	健・万利子



おしあわせに

佐竹竜一 (ハツ沼)	浅岡春香 (宇津野)
鈴木弘治 (常盤)	富樫理沙 (庄内町)
鈴木勇二 (杉山)	鈴木舞 (元町)



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
助ノ巻	布施正子	雅晴
大滝	佐藤勇作	本人
大谷四	榊徳雄	元國
前田沢	松田良	正佳
能中	渡辺ふみ	栄治
夏草町	齊藤八藏	宇八
緑町	清野富久子	力藏
松程	鈴木キヨノ	元
平	佐藤太平	順子
助ノ巻	鈴木吉夫	健慥
太郎一	佐藤きよみ	柿山正市
小原	菅井秀一	昭夫

人口と世帯数

●平成19年5月31日現在
人口 8,565人(減6人)
男 4,237人(減4人)
女 4,328人(減2人)
世帯数 2,543戸(減2戸)
()内 前月比



トリニティ先生の 英語にチャレンジ!

Reflecting

When we return to America I will always think about Asahi-machi.

I will remember Asahi and the delicious fruit. I will remember the excitement of firework festivals. I will remember the ceramics class and the beautiful pieces that were made by the participants. I will remember the first winter with snow taller than me. I will remember the Sado circle who tried to teach me a beautiful Japanese art. I will remember the Halloween Party and all the wonderful costumes. I will remember the faces of the children at the library "Storytelling" time. I will remember hanabi and imoni-kai.

Asahi-machi and Japan became our home and it will be very hard to leave. We love the seasons here. We love the scenery. But most of all we will remember the people we met here.



思 い 出

もうすぐ私たちはアメリカに戻りますが、そのときが近づくにつれ、私たちは毎日朝日町のことを考えるようになるでしょう。

私は朝日町でのことを忘れません。おいしい果物、花火大会、陶芸教室とそこで作った皆さんのすばらしい作品の数々、私の身長よりも高く積もったおととしの冬の大雪、「日本の美」について教えてくれた茶道教室の方々、皆すばらしい衣装を身にまとったハロウィンパーティー、図書館で読み聞かせを行ったときの子どもたちの表情、それに花火や芋煮会など・・・

朝日町、そして日本は私たちの故郷になりました。今ではここを離れるのがとても名残り惜しく思います。私たちは朝日町の四季や美しい景観が大好きです。ここで出会った多くの人々を一生忘れないでしょう。

お詫びと訂正

広報あさひまち5月号(NO.606)で次のような誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

1. 4ページ 町政スポット① 新議員紹介

【訂正前】 長岡 啓二

【訂正後】 長岡 啓治

2. 6ページ 町政スポット② 町消防団平成19年度体制

【訂正前】 安藤克幸(宇津野)

【訂正後】 安藤克幸(松原)

朝食レシピコンクール

朝日町では朝食を食べることの重要性やその楽しみを、家族みんなで考えることを目的として平成18年度に朝食レシピを募集しました。その中から選りすぐりのものを紹介します。

大人の部 優秀賞 納豆オムレツ



伊藤キエ子さん
(大町)

おすすめ理由

納豆とたまごと一緒に食べられるほか、干しえびやしらすなどを入れてもカルシウムやたんぱく質を摂取できるなど、栄養価の高い食材をふんだんに使用した料理です。

材 料

- ・たまご 1個
 - ・納豆 1／2パック
 - ・ねぎ 20cm程度
 - ・かつおぶし 大さじ山盛り 1杯
 - ・しょうゆ 少々
 - ・マヨネーズ 少々
 - ・青のり 少々
 - ・油 少々

作り方

- ①納豆（1/2パック）をボールでかき混ぜます。
 - ②その中にたまご（1個）をときほぐします。
 - ③熱したフライパンに油を少々で焼きます。
 - ④ねぎ（みじんぎり）・かつあぶしを全体に入れます。
 - ⑤やわらかいうちにオムレツにします。
 - ⑥マヨネーズ・青のりをかけ、しょうゆをかけて出来上がりです。

つきませんでした。振り返れば、もう6月も中旬。この担当になつてから早く2ヵ月半が過ぎました。常に原稿と向き合い、締切日を意識しながらの仕事で、毎日がとても早く感じられています。そんな中、先日畑の草を刈り、またキジと会える毎日となりました。野生の動物と毎日のように会えるこの環境にとても満足しています。今度「日本一」のぼりをたためかせ、きび団子で餌付けしてみようかな(笑)。

春夏秋冬

編集後記

私の部屋の窓の外には傾斜地のりんご畑が広がっています。そこに最近よく姿を見せるのが野生のキジ。朝に鳴き声がして外を見わたすと、およそ10メートル先を優雅に歩いています。

しかし、5月下旬以降、鳴き声がしても、その姿をなかなか確認できくなりました。その理由はと言うと、いつの間にか、雑草がキジの背丈よりも高く繁茂していく、それに隠れてしまっていたのです。最近の雨のせいで雑草の成長が早く、そのことに全く気が